

2022年3月9日

会 社 名 : 日本エンタープライズ株式会社
(東証一部 コード番号 4829)
代 表 者 名 : 代表取締役社長 植田 勝典
問 合 せ 責 任 者 : 常 務 取 締 役 田 中 勝

【NEグループ：フォー・クオリア】 法政大学主催シンポジウムに代表松永が登壇



日本エンタープライズ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：植田勝典）の子会社で、株式会社フォー・クオリア（本社：東京都品川区、以下「フォー・クオリア」）の代表取締役社長 松永州央が2022年2月27日（日）に開催された「第37回多摩シンポジウム」（主催：法政大学・多摩地域交流センター）に登壇しましたのでお知らせいたします。

同シンポジウムは、多摩地域の少子高齢化に伴う地域課題解決へ向けた対話の場として定期的に開催されている討論会で、今回は「スマートシティ」をコンセプトに実地視察や関係者・専門家による討論が行われました。

松永は当社グループにおいて、Web開発などを手掛けるフォー・クオリアの他、電力最適化やMaas、会津若松市（福島県）の教育システム構築などを手掛け、同市のプラットフォームを目指す「スマートシティAiCT」にも参加する株式会社会津ラボ（本社：福島県会津若松市、以下「会津ラボ」）の代表も兼任しています。今回は基調講演において「スマートシティ、実践の現場から（会津若松市・下関市）」と題し、取り組みに携わってきた経験を基にスマートシティ構築について紹介しました。

会津若松市に関しては同市が推進するスマートシティにおいて、会津ラボが地元企業として「Maas」「教育」分野に参画しており、全国でも注目を集めている同市のスマートシティの状況について紹介しました。

また、下関市では松永がアーキテクトとして同市のスマートシティの取り組みの旗振り役を務めており、重点分野における具体的な施策、運用の考え方、課題などを紹介しました。

「スマートシティは単なるデジタル化ではなく、市民のための街づくり」と語る松永。今後も各地のスマートシティ構築を支援するとともに、当社グループにおいても「社会をより良い方向へ変える会社」を目指し、グループシナジーを活かして様々なソリューションの提供で社会的課題解決に向けて取り組んでまいります。



▼株式会社フォー・クオリア

<https://www.4qualia.co.jp/>

▼株式会社会津ラボ

<https://www.aizulab.com/>

本件に関するお問合せ

<報道関係者> 日本エンタープライズ株式会社 広報・IRグループ （松本・三里）
TEL:03-5774-5730 EMAIL:ir@nihon-e.co.jp <https://www.nihon-e.co.jp>

<お 客 様> 株式会社フォー・クオリア 管理本部（深澤）
TEL: 03-5436-4771 EMAIL: 4qualia_hp_contact@4qualia.co.jp <https://www.4qualia.co.jp>